

決算補足説明資料

2018年度 第2四半期決算

2018年10月30日

田辺三菱製薬株式会社

証券コード:4508

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おさください。



田辺三菱製薬

本資料に関するお問い合わせ

広報部 TEL 06-6205-5211

FAX 06-6205-5105

目次

1	2018年度第2四半期 決算の概要	
	1. 2018年度第2四半期 業績サマリー 2. 2018年度 業績予想サマリー 3. 配当金	2
2	2018年度第2四半期 連結決算について	
	1. 損益状況	3
	① 損益実績	3
	② 主要製品売上収益	4
	2. 財務状況	5
	① 資産・負債・資本の状況	5
	② キャッシュ・フロー計算書	6
	③ 設備投資／情報システム開発投資 ④ 減価償却費および償却費	7
	3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数	7
3	2018年度 業績予想について	
	① 損益予想	8
	② 主要製品売上収益予想	9
	③ 設備投資／情報システム開発投資予想 ④ 減価償却費および償却費予想	10
4	5ヵ年連結財務数値	
	日本基準 ① 損益計算書 ② 貸借対照表 ③ その他財務数値	11
	IFRS ① 損益計算書 ② 財政状態計算書 ③ その他財務数値 ④ 従業員数	12
5	四半期業績の推移	
	① 損益計算書	13
	② 主要製品売上収益	14
6	新製品開発状況について(2018年10月25日現在)	
	① 自己免疫疾患 ② 糖尿病・腎疾患	15
	③ 中枢神経系疾患 ④ ワクチン	16
	⑤ その他疾患	17
	2018年度第1四半期決算発表からの変更点	18
7	その他	
	1. 関係会社	19
	① 関係会社数 ② 連結子会社一覧 ③ 関連会社およびジョイントベンチャー一覧	19
	2. 株式の状況	20
	① 発行済株式数 ② 大株主の状況 ③ 所有者別株式分布状況(単元株)	
	④ 配当金／株価推移	20
	参考	
	主要医療用医薬品の解説／ニュースリリース	21

1 2018年度第2四半期 決算の概要

(億円未満切り捨て)

1. 2018年度第2四半期 業績サマリー

売上収益	2,097 億円	前年同期比	△ 36 億円	△ 1.7 %
○国内	1,464 億円	前年同期比	△ 142 億円	△ 8.9 %
○海外	632 億円	前年同期比	106 億円	20.1 %

売上収益は、前年同期比△1.7%、36億円減収の2,097億円となりました。

国内医療用医薬品は、関節リウマチなどの治療剤「シンポニー」の伸長、2017年9月に発売した2型糖尿病治療剤「カナリア」や2018年7月よりヤンセンファーマとの販売枠組みを変更したクローン病などの治療剤「ステラール」の寄与などにより重点品は増収となったものの、2018年4月の薬価改定や2017年10月のジェネリック医薬品事業の譲渡などの影響により、前年同期比10.0%減収の1,415億円となりました。

海外医療用医薬品は、2017年8月に米国で発売した筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療剤「ラジカヴァ」が大きく寄与し、前年同期比96.2%増収の274億円となりました。

ロイヤリティ収入等は、ノバルティスに導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」に係るロイヤリティ収入は引き続き伸長したものの、ヤンセンファーマシューティカルズに導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とトホルミンの合剤に係るロイヤリティの減少などにより、前年同期比8.4%減収の363億円となりました。

コア営業利益(注)	345 億円	前年同期比	△ 52 億円	△ 13.1 %
営業利益	345 億円	前年同期比	△ 23 億円	△ 6.4 %

コア営業利益は、前年同期比△13.1%、52億円減益の345億円となりました。

国内重点品や米国「ラジカヴァ」の増収や業務生産性改革に伴う販売費及び一般管理費の減少はあったものの、薬価改定による減収、長期収載品やロイヤリティ収入の減少の影響に加え、後期開発へのステージアップやニューロダームの買収などによる研究開発費の増加などにより、減益となりました。営業利益は、コア営業利益と同額の345億円(前年同期比△6.4%、23億円減益)となりました。

税引前四半期利益	348 億円	前年同期比	△ 27 億円	△ 7.3 %
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	249 億円	前年同期比	△ 48 億円	△ 16.2 %

(注)当社グループは、国際財務報告基準(IFRS)を適用しており、会社の経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を導入し、経営管理等の重要指標と位置付けております。「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益(以下、非経常項目)を除外したものです。非経常項目は、事業譲渡による収益、構造改革費用、製品に係る無形資産の減損損失、災害による損失等であります。

2. 2018年度 業績予想サマリー

売上収益	4,350 億円	前期比	11 億円	0.3 %
コア営業利益	700 億円	前期比	△ 85 億円	△ 10.9 %
営業利益	670 億円	前期比	△ 102 億円	△ 13.3 %
税引前利益	675 億円	前期比	△ 112 億円	△ 14.3 %
親会社の所有者に 帰属する当期利益	470 億円	前期比	△ 109 億円	△ 18.9 %

2018年5月9日に公表した通期業績予想は変更していません。

3. 配当金

	2018年度			2017年度		
	上期末	期末(予想)	年間(予想)	上期末	期末	年間
1株当たり配当金(円)	28	28	56	38	28	66
(うち、記念配当金)	-	-	-	(10)	-	(10)
配当性向	-	-	66.8%	-	-	63.9%

当社は、2017年10月1日に発足10周年を迎えました。これを記念し、2017年度中間配当時に記念配当を実施いたしました。

2 2018年度第2四半期 連結決算について

(億円未満切り捨て)

1. 損益状況

① 損益実績

(単位:億円)

	2018年度上期	前年同期比較			予想比較			主なポイント (前年同期比較)
		2017年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	増減額	増減率%	
売上収益	2,097	2,133	△ 36	△ 1.7	2,100	△ 2	△ 0.1	P4「② 主要製品売上収益」参照
国内	1,464	1,607	△ 142	△ 8.9	1,457	7	0.5	
海外 海外売上比率	632 30.1%	526 24.7%	106	20.1	642 30.6%	△ 10	△ 1.7	
売上原価 売上原価率	861 41.1%	845 39.6%	16	1.9	840 40.0%	21	2.5	薬価改定の影響等による売上原価率上昇
売上総利益	1,235	1,288	△ 52	△ 4.1	1,260	△ 24	△ 1.9	
販管費 販管費比率	477 22.8%	514 24.1%	△ 37	△ 7.2	500 23.8%	△ 22	△ 4.5	ジェネリック医薬品事業の譲渡、業務生産性改革の推進などによる減少
研究開発費 研究開発費比率	395 18.9%	363 17.1%	31	8.7	445 21.2%	△ 49	△ 11.1	後期開発へのステージアップやニューロダームの買収などによる増加
製品に係る 無形資産償却費	14	10	4	39.2	15	△ 0	△ 2.2	
その他損益(注2)	△ 3	△ 2	△ 0	-	-	△ 3	-	
コア営業利益	345	397	△ 52	△ 13.1	300	45	15.0	
非経常項目(注2)	-	△ 28	28	-	△ 15	15	-	
営業利益	345	368	△ 23	△ 6.4	285	60	21.1	
金融収益	5	12	△ 6	△ 52.3				
受取利息 ・受取配当金	5	6	△ 0	△ 12.2				
為替差益	-	2	△ 2	-				
その他	0	2	△ 2	△ 99.3				
金融費用	2	5	△ 2	△ 47.0				
支払利息	0	0	△ 0	△ 17.9				
為替差損	1	-	1	-				
その他	0	4	△ 3	△ 94.4				
税引前四半期利益	348	375	△ 27	△ 7.3	290	58	20.1	
法人所得税	116	93	23	24.9				
四半期利益	231	282	△ 50	△ 18.0	185	46	25.2	
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	249	298	△ 48	△ 16.2	195	54	28.2	
総人件費	358	359	△ 1	△ 0.4	370	△ 11	△ 3.2	

(注1) 2018年5月9日に公表した2018年度業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に△表示しております。

為替レート

(単位:円)

	2018年度上期 平均レート	2017年度上期 平均レート	2018年度 計画レート
米ドル	110.71	111.29	105.00
ユーロ	129.78	127.77	130.00

* 当第2四半期において、為替レートの変動により、売上収益で約△3億円、コア営業利益で約△0億円の影響がありました。

② 主要製品売上収益

(単位:億円)

	2018年度上期	前年同期比較			予想比較		
		2017年度上期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	1,415	1,572	△ 157	△ 10.0	1,412	2	0.2
レミケード	299	329	△ 29	△ 9.0	284	14	5.1
シンボニー	185	153	32	20.9	172	12	7.3
テネリア	72	93	△ 21	△ 22.9	84	△ 11	△ 14.2
ステラーラ	47	0	47	-	49	△ 1	△ 3.9
レクサプロ	68	62	6	9.6	64	3	5.8
セレジスト	46	56	△ 9	△ 17.2	48	△ 1	△ 3.9
クレメジン	33	33	0	0.6	35	△ 1	△ 4.3
カナグル	30	26	3	13.6	36	△ 6	△ 16.9
タリオン	25	79	△ 53	△ 67.5	35	△ 9	△ 26.7
ルパフィン	3	-	3	-	12	△ 8	△ 69.2
メインテート	26	55	△ 29	△ 52.5	27	△ 0	△ 3.0
ワクチン	155	144	11	7.7	143	12	8.5
インフルエンザ	9	11	△ 1	△ 10.7	13	△ 3	△ 25.2
テトラビック	41	44	△ 2	△ 6.0	45	△ 3	△ 7.4
水痘ワクチン	26	27	△ 0	△ 3.0	28	△ 2	△ 7.1
ミールビック	41	29	12	41.6	29	12	41.6
田辺製薬販売取扱品(注2)	-	66	△ 66	△ 100.0	-	-	-
海外医療用医薬品	274	139	134	96.2	292	△ 17	△ 6.0
ラジカヴァ	139	11	127	-	141	△ 2	△ 2.1
ヘルベッサー	33	31	1	5.8	34	△ 1	△ 4.3
アルガトロバン	10	9	0	2.8	11	△ 0	△ 8.4
シンボニー	9	9	0	6.2	10	△ 0	△ 2.4
ロイヤリティ収入等	363	396	△ 33	△ 8.4	354	8	2.4
ジレニア ロイヤリティ	299	294	4	1.6	非開示	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	49	72	△ 23	△ 31.8	非開示	-	-
一般用医薬品	22	21	0	1.5	23	△ 1	△ 7.8
その他(注3)	21	2	19	749.8	16	5	31.3
売上収益合計	2,097	2,133	△ 36	△ 1.7	2,100	△ 2	△ 0.1

(注1) 2018年5月9日に公表した2018年度業績予想数値

(注2) 当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡しました。

(注3) 他社製品の製造受託品等

2. 財務状況

① 資産・負債・資本の状況

(単位: 億円)

	2018年度 上期末	構成比%	2017年度末 (注1)	増減額	主なポイント
資産	10,709	100.0	10,484	224	
非流動資産	4,817	45.0	4,629	188	
有形固定資産	791	7.4	804	△ 13	設備投資+20億円、減価償却△36億円など
のれん	922	8.6	911	10	
無形資産	2,124	19.8	2,009	115	為替影響による増加など
持分法で会計処理 されている投資	164	1.5	164	△ 0	
その他の金融資産	503	4.7	461	42	投資有価証券の時価評価による増加など
退職給付に係る資産	252	2.4	227	25	年金資産の時価評価による増加など
その他の非流動資産	3	0.0	3	△ 0	
繰延税金資産	56	0.5	47	9	
流動資産	5,891	55.0	5,855	36	
棚卸資産	746	7.0	819	△ 73	
営業債権(注2) (営業債権回転月数)	1,251 (3.58)	11.7	1,235 (3.47)	15	
その他の金融資産	2,588	24.2	2,467	121	
その他の流動資産	84	0.8	62	22	
現金及び現金同等物	1,220	11.4	1,270	△ 49	P6「② キャッシュ・フロー計算書」参照
負債	1,498	14.0	1,536	△ 38	
非流動負債	586	5.5	554	32	
借入金	1	0.0	4	△ 2	
その他の金融負債	22	0.2	21	0	
退職給付に係る負債	8	0.1	8	△ 0	
引当金	78	0.7	85	△ 7	
その他の非流動負債	54	0.5	55	△ 0	
繰延税金負債	421	3.9	378	43	
流動負債	911	8.5	981	△ 70	
借入金	3	0.0	1	1	
営業債務(注3)	347	3.2	356	△ 9	
その他の金融負債	204	1.9	207	△ 2	
未払法人所得税	121	1.1	180	△ 59	
引当金	34	0.3	19	15	
その他の流動負債	200	1.9	216	△ 16	
資本	9,211	86.0	8,948	263	
資本金	500	4.7	500	-	
資本剰余金	4,512	42.1	4,512	0	
自己株式	△ 10	△ 0.1	△ 10	0	
利益剰余金	3,939	36.8	3,821	117	当期利益249億円、配当金支払△157億円
その他の資本の構成要素	140	1.3	5	135	
非支配持分	129	1.2	120	9	

(注1) 当第2四半期において、ニューロダーム買収における取得対価の配分が完了いたしました。これに伴い、要約四半期連結財政状態計算書の前連結会計年度を遡及修正しております。詳細につきましては、「2019年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)」12ページをご参照ください。

(注2) 営業債権には受取手形と売掛金及び貸倒引当金を含みます。

(注3) 営業債務には支払手形(除く営業外支払手形)と買掛金を含みます。

② キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

	2018年度上期	2017年度上期	増減額
現金及び現金同等物期首残高	1,270	1,132	138
営業キャッシュ・フロー	234	297	△ 62
税引前利益	348	375	△ 27
減価償却費及び償却費	58	56	2
減損損失	0	11	△ 10
受取利息及び受取配当金	△ 5	△ 6	0
持分法による投資利益(△は益)	△ 0	△ 0	0
投資有価証券評価損	0	3	△ 3
営業債権の増減額(△は増加)	△ 12	△ 145	133
棚卸資産の増減額(△は増加)	81	9	71
営業債務の増減額(△は減少)	△ 21	0	△ 21
引当金の増減額(△は減少)	6	0	5
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	0	1	△ 0
利息・配当金の受取額	6	7	△ 0
利息の支払額	△ 1	△ 0	△ 0
法人所得税の支払額	△ 193	△ 39	△ 154
その他	△ 31	23	△ 55
投資キャッシュ・フロー	△ 168	1,263	△ 1,431
定期預金の預入による支出	△ 11	△ 1	△ 10
定期預金の払戻による収入	37	0	36
有形固定資産の取得による支出	△ 21	△ 50	28
無形資産の取得による支出	△ 8	△ 81	72
投資の取得による支出	△ 1,476	△ 1,780	303
投資の売却及び償還による収入	1,312	3,337	△ 2,025
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	-	△ 161	161
その他	0	△ 0	0
財務キャッシュ・フロー	△ 133	△ 135	2
自己株式の取得による支出	△ 0	△ 5	5
非支配株主からの払戻による収入	24	29	△ 4
配当金の支払額	△ 157	△ 157	0
その他	△ 1	△ 2	0
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	17	5	11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 49	1,430	△ 1,479
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-	△ 0	0
現金及び現金同等物期末残高	1,220	2,561	△ 1,340

③ 設備投資／情報システム開発投資

(単位:億円)

	2018年度上期	2017年度上期	増減額	2017年度
設備投資額／発生ベース	20	25	△ 4	44
システム投資額／発生ベース	9	5	3	16

2018年度上期の主な設備投資		2018年度上期の主なシステム開発投資	
田辺三菱製薬	9億円	田辺三菱製薬	7億円
メディカゴ	4億円		

④ 減価償却費および償却費

(単位:億円)

	2018年度上期	2017年度上期	増減額	2017年度
有形固定資産	36	37	△ 1	75
無形資産(製品に係るものを除く)	7	7	△ 0	14
製品に係る無形資産	14	10	4	24

3. 主要連結子会社の財務数値・従業員数

(単位:億円)

	会社名	田辺三菱 製薬工場	ミツビシタナベファーマ ホールディングスアメリカ	メディカゴ	天津田辺製薬	ミツビシタナベ ファーマコリア
売上収益	2018年度上期	133	167	3	29	31
	2017年度	295	184	5	53	59
	2017年度上期	148	43	1	25	30
営業利益	2018年度上期	5	9	△ 49	2	3
	2017年度	30	△ 20	△ 107	2	5
	2017年度上期	18	△ 20	△ 44	0	4
当期利益	2018年度上期	3	7	△ 49	1	2
	2017年度	22	△ 17	△ 108	1	4
	2017年度上期	12	△ 12	△ 45	1	3
研究開発費	2018年度上期	5	20	53	0	-
	2017年度	8	39	111	1	-
	2017年度上期	2	19	45	1	-
有形固定資産 減価償却費	2018年度上期	11	0	2	1	0
	2017年度	24	1	4	2	0
	2017年度上期	12	0	2	1	0
資産合計	2018年度上期末	446	471	380	56	44
	2017年度末	473	417	353	55	45
	2017年度上期末	458	371	382	56	42
資本合計	2018年度上期末	382	212	271	33	35
	2017年度末	390	191	245	32	34
	2017年度上期末	382	207	271	32	32
従業員数(人)	2018年度上期末	652	269	365	517	143
	2017年度末	680	174	350	521	137
	2017年度上期末	704	157	328	552	135

* 上記財務数値は、内部取引消去前のものです。

3 2018年度 業績予想について

(億円未満切り捨て)

① 損益予想

(単位:億円)

	2018年度 通期予想(注1)	前期比較			主なポイント(前期比較)
		2017年度 通期実績	増減額	増減率%	
売上収益	4,350	4,338	11	0.3	P9「②主要製品売上収益予想」参照
国内	3,047	3,208	△ 161	△ 5.0	
海外	1,302	1,129	172	15.3	
海外売上比率	29.9%	26.0%			
売上原価	1,760	1,697	62	3.7	薬価改定の影響等により売上原価率が上昇
売上原価率	40.5%	39.1%			
売上総利益	2,590	2,641	△ 51	△ 1.9	
販管費	1,010	1,040	△ 30	△ 2.9	
販管費比率	23.2%	24.0%			
研究開発費	845	790	54	6.8	後期開発推進による増加
研究開発費比率	19.4%	18.2%			
製品に係る 無形資産償却費	30	24	5	22.4	
その他損益(注2)	△ 5	0	△ 5	-	
コア営業利益	700	785	△ 85	△ 10.9	
非経常項目(注2)	△ 30	△ 12	△ 17	-	
営業利益	670	772	△ 102	△ 13.3	
税引前利益	675	787	△ 112	△ 14.3	
当期利益	445	539	△ 94	△ 17.6	
親会社の所有者に 帰属する当期利益	470	579	△ 109	△ 18.9	
総人件費	754	727	26	3.6	

(注1) 2018年5月9日に公表した2018年度業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に△表示しております。

為替レート

(単位:円)

	2018年度 想定レート	2017年度 平均レート
米ドル	105.00	110.70
ユーロ	130.00	130.25

② 主要製品売上収益予想

(単位:億円)

	2018年度 通期予想(注1)	前期比較		
		2017年度 通期実績	増減額	増減率%
国内医療用医薬品	2,962	3,093	△ 131	△ 4.2
レミケード	555	646	△ 91	△ 14.1
シンボニー	350	321	29	9.2
テネリア	170	175	△ 4	△ 2.8
ステラーラ	151	3	147	-
レクサプロ	131	127	3	3.1
セレジスト	93	108	△ 14	△ 13.7
クレメジン	84	65	19	29.2
カナグル	76	56	20	36.5
タリオン	73	169	△ 95	△ 56.6
ルバフィン	68	4	64	-
メインテート	53	103	△ 50	△ 48.6
ワクチン	365	350	14	4.2
インフルエンザ	112	99	12	12.8
テトラビック	91	87	3	4.2
水痘ワクチン	55	52	2	4.2
ミールビック	55	50	5	11.1
田辺製薬販売取扱品(注2)	-	66	△ 66	△ 100.0
海外医療用医薬品	611	385	225	58.5
ラジカヴァ	315	123	192	156.1
ヘルベッサ	72	65	7	11.1
アルガトロバン	22	20	1	8.0
シンボニー	21	18	2	13.1
ロイヤリティ収入等	698	791	△ 92	△ 11.7
ジレニア ロイヤリティ	非開示	577	-	-
インヴォカナ ロイヤリティ	非開示	139	-	-
一般用医薬品	43	37	6	16.6
その他(注3)	33	30	3	10.6
売上収益合計	4,350	4,338	11	0.3

(注1) 2018年5月9日に公表した2018年度業績予想数値

(注2) 当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡しました。

(注3) 他社製品の製造受託品等

③ 設備投資／情報システム開発投資予想 (単位:億円)

	2018年度 通期予想	2017年度 通期実績	増減額	増減率%
設備投資額／発生ベース	104	44	59	131.7
システム投資額／発生ベース	31	16	14	82.8

2018年度の主な設備投資予定		2018年度の主なシステム投資予定	
生産関係設備	60億円	研究開発関係システム	16億円
(メディカゴ・ケベック新工場建設)	(13億円)	その他	15億円
研究開発関係設備	31億円		
その他	13億円		

④ 減価償却費および償却費予想 (単位:億円)

	2018年度 通期予想	2017年度 通期実績	増減額	増減率%
有形固定資産	79	75	3	4.2
無形資産(製品に係るものを除く)	16	14	1	6.7
製品に係る無形資産	30	24	5	22.4

4 5カ年連結財務数値

日本基準 (億円未満四捨五入)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2013年度	2014年度	2015年度
売上高	4,127	4,151	4,317
売上原価	1,694	1,696	1,558
売上総利益	2,433	2,455	2,759
販管費	1,842	1,784	1,810
研究開発費	704	696	753
営業利益	591	671	949
経常利益	619	677	948
特別利益	153	137	141
特別損失	48	186	246
親会社株主に帰属する当期純利益	454	395	564

② 貸借対照表

(単位:億円)

	2013年度末	2014年度末	2015年度末
総資産	8,865	9,293	9,302
流動資産	5,405	6,036	6,573
固定資産	3,460	3,257	2,730
負債	1,086	1,289	1,135
流動負債	818	1,054	913
固定負債	268	235	222
純資産	7,778	8,004	8,167

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2013年度	2014年度	2015年度
営業キャッシュ・フロー	699	682	652
投資キャッシュ・フロー	△ 243	△ 598	△ 266
財務キャッシュ・フロー	△ 211	△ 219	△ 222
設備投資	126	157	112
情報システム開発投資	21	16	9
減価償却費	92	90	88
自己資本比率(%)	86.4	84.9	86.6
自己資本当期純利益率(ROE)(%)	6.0	5.1	7.1
1株当たり当期純利益(円)	80.92	70.41	100.60
1株当たり純資産(円)	1,365.52	1,406.41	1,436.63

IFRS (億円未満切り捨て)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度上期	2018年度予想
売上収益	4,257	4,239	4,338	2,097	4,350
売上原価	1,558	1,643	1,697	861	1,760
売上総利益	2,699	2,595	2,641	1,235	2,590
販管費	963	983	1,040	477	1,010
研究開発費	646	647	790	395	845
コア営業利益	1,069	945	785	345	700
営業利益	818	940	772	345	670
税引前利益	832	960	787	348	675
当期利益	570	689	539	231	445
親会社の所有者に帰属する当期利益	593	712	579	249	470

② 財政状態計算書

(単位:億円)

	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度 上期末
資産	9,584	9,845	10,484	10,709
非流動資産	3,082	3,007	4,629	4,817
流動資産	6,501	6,837	5,855	5,891
負債	1,321	1,131	1,536	1,498
非流動負債	332	247	554	586
流動負債	989	884	981	911
資本	8,263	8,714	8,948	9,211

③ その他財務数値

(単位:億円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度上期	2018年度予想
営業キャッシュ・フロー	808	597	669	234	-
投資キャッシュ・フロー	△ 422	△ 105	△ 191	△ 168	-
財務キャッシュ・フロー	△ 222	△ 244	△ 325	△ 133	-
設備投資	112	126	44	20	104
情報システム開発投資	9	18	16	9	31
減価償却費および償却費	103	104	115	58	125
親会社所有者帰属持分比率(%)	85.1	87.4	84.2	84.8	-
親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)(%)	7.4	8.5	6.6	5.6	-
基本的1株当たり当期利益(円)	105.72	127.03	103.35	44.57	83.81
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	1,453.71	1,533.91	1,574.26	1,619.57	-

④ 従業員数

(単位:人)

	2013年度末	2014年度末	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度 上期末	2018年度末 予想
連結	9,065	8,457	8,125	7,280	7,187	7,258	7,400
単体	4,867	4,844	4,780	4,239	4,222	4,175	4,230

5 四半期業績の推移

(億円未満切り捨て)

① 損益計算書

(単位:億円)

	2017年度					2018年度		
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	通期予想 (注1)
売上収益	1,077 24.8%	1,056 24.4%	1,259 29.0%	945 21.8%	4,338 100.0%	1,053 24.2%	1,043 24.0%	4,350 100.0%
国内	820 25.6%	786 24.5%	946 29.5%	655 20.4%	3,208 100.0%	741 24.3%	723 23.7%	3,047 100.0%
海外	256 22.7%	269 23.9%	313 27.7%	290 25.7%	1,129 100.0%	311 23.9%	320 24.6%	1,302 100.0%
売上原価	425	419	497	355	1,697	423	437	1,760
売上原価率	39.5%	39.7%	39.5%	37.6%	39.1%	40.2%	42.0%	40.5%
売上総利益	651 24.7%	637 24.1%	762 28.9%	590 22.3%	2,641 100.0%	630 24.3%	605 23.4%	2,590 100.0%
販管費	244 23.5%	270 26.0%	261 25.2%	264 25.4%	1,040 100.0%	231 23.0%	245 24.3%	1,010 100.0%
研究開発費	180 22.9%	182 23.1%	197 25.0%	229 29.0%	790 100.0%	196 23.3%	199 23.6%	845 100.0%
製品に係る無形 資産償却費	5 21.5%	5 21.5%	6 27.1%	7 29.9%	24 100.0%	7 24.5%	7 24.4%	30 100.0%
その他損益(注2)	△ 1 -	△ 1 -	3 -	△ 0 -	0 -	△ 1 -	△ 1 -	△ 5 -
コア営業利益	219 28.0%	177 22.6%	299 38.2%	88 11.3%	785 100.0%	193 27.6%	151 21.7%	700 100.0%
営業利益	210 27.2%	158 20.5%	316 40.9%	88 11.4%	772 100.0%	193 28.8%	151 22.7%	670 100.0%
税引前(四半期)利益	219 27.9%	155 19.8%	326 41.5%	85 10.8%	787 100.0%	197 29.2%	150 22.3%	675 100.0%
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益	169 29.3%	128 22.2%	222 38.4%	58 10.1%	579 100.0%	139 29.7%	110 23.5%	470 100.0%

* 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注1) 2018年5月9日に公表した2018年度業績予想数値

(注2) 費用・損失の場合に△表示しております。

② 主要製品売上収益

(単位:億円)

	2017年度					2018年度		
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	通期予想 (注1)
国内医療用医薬品	799 25.9%	773 25.0%	923 29.8%	597 19.3%	3,093 100.0%	716 24.2%	699 23.6%	2,962 100.0%
レミケード	168 26.0%	161 24.9%	182 28.2%	135 20.9%	646 100.0%	151 27.2%	148 26.6%	555 100.0%
シンボニー	75 23.5%	77 24.2%	92 28.6%	76 23.7%	321 100.0%	90 25.7%	95 27.1%	350 100.0%
テネリア	46 26.7%	46 26.8%	58 33.4%	22 13.1%	175 100.0%	44 26.3%	27 16.1%	170 100.0%
ステラール	- -	0 6.9%	0 18.9%	2 74.2%	3 100.0%	2 1.4%	45 30.1%	151 100.0%
レクサプロ	31 24.5%	31 24.3%	36 28.8%	28 22.4%	127 100.0%	34 25.9%	34 26.0%	131 100.0%
セレジスト	30 28.3%	26 23.9%	31 28.8%	20 19.0%	108 100.0%	24 26.5%	22 23.6%	93 100.0%
クレメジン	17 26.9%	15 24.3%	17 26.8%	14 22.0%	65 100.0%	17 20.2%	16 19.7%	84 100.0%
カナグル	14 25.9%	12 21.7%	17 30.8%	12 21.6%	56 100.0%	14 19.5%	15 20.1%	76 100.0%
タリオン	40 23.7%	39 23.2%	47 28.3%	41 24.8%	169 100.0%	14 19.4%	11 15.6%	73 100.0%
ルバフィン	- -	- -	6 158.4%	△ 2 △ 58.4%	4 100.0%	1 2.5%	2 3.1%	68 100.0%
メインテート	29 28.8%	26 25.1%	30 29.6%	17 16.4%	103 100.0%	14 26.6%	12 23.2%	53 100.0%
ワクチン	68 19.5%	76 21.7%	154 44.0%	51 14.7%	350 100.0%	88 24.2%	67 18.5%	365 100.0%
インフルエンザ	△ 0 △ 0.3%	11 11.4%	90 91.4%	△ 2 △ 2.5%	99 100.0%	△ 1 △ 1.0%	10 9.7%	112 100.0%
テトラビック	23 26.7%	20 23.9%	22 25.6%	20 23.7%	87 100.0%	22 24.1%	19 21.6%	91 100.0%
水痘ワクチン	14 27.4%	12 23.8%	13 25.6%	12 23.1%	52 100.0%	14 25.7%	12 22.0%	55 100.0%
ミールビック	15 31.3%	13 26.3%	12 24.3%	9 18.0%	50 100.0%	33 59.2%	7 14.2%	55 100.0%
田辺製薬販売 取扱品(注2)	34 51.4%	32 48.6%	- -	- -	66 100.0%	- -	- -	- -
海外医療用医薬品	59 15.4%	80 20.9%	117 30.5%	128 33.3%	385 100.0%	129 21.2%	145 23.7%	611 100.0%
ラジカヴァ	- -	11 9.5%	52 42.9%	58 47.6%	123 100.0%	64 20.3%	74 23.8%	315 100.0%
ヘルベッサー	15 23.1%	16 25.4%	15 24.2%	17 27.3%	65 100.0%	16 23.3%	16 22.9%	72 100.0%
アルガトロバン	4 23.0%	5 25.3%	6 31.0%	4 20.8%	20 100.0%	5 25.0%	4 20.9%	22 100.0%
シンボニー	4 24.4%	4 25.4%	4 25.5%	4 24.7%	18 100.0%	4 23.0%	5 23.8%	21 100.0%
ロイヤリティ収入等	204 25.9%	191 24.2%	199 25.2%	196 24.8%	791 100.0%	185 26.5%	177 25.4%	698 100.0%
ジレニア	145 25.3%	149 25.8%	152 26.5%	129 22.4%	577 100.0%	153 -	145 -	非開示 -
ロイヤリティ	36 25.7%	36 26.3%	38 27.6%	28 20.4%	139 100.0%	24 -	24 -	非開示 -
インヴォカナ	36 25.7%	36 26.3%	38 27.6%	28 20.4%	139 100.0%	24 -	24 -	非開示 -
一般用医薬品	11 31.1%	10 27.0%	9 26.4%	5 15.5%	37 100.0%	12 27.7%	9 22.9%	43 100.0%
その他(注3)	1 5.3%	0 3.1%	9 32.7%	17 58.9%	30 100.0%	10 30.6%	11 34.1%	33 100.0%
売上収益合計	1,077 24.8%	1,056 24.4%	1,259 29.0%	945 21.8%	4,338 100.0%	1,053 24.2%	1,043 24.0%	4,350 100.0%

* 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) 2018年5月9日に公表した2018年度業績予想数値

(注2) 当社は2017年10月1日付で田辺製薬販売の全株式をニプロに譲渡しました。

(注3) 他社製品の製造受託品等

6 新製品開発状況について(2018年10月25日現在)

① 自己免疫疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
FTY720 イムセラ/ジレニア (フィンゴリド塩酸塩)	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (小児・多発性硬化症)	欧州 申請(2017年11月)	ノバルティス(スイス)へ導出
アザニン (アザチオプリン)	免疫抑制剤 (自己免疫性肝炎)	日本 申請(2018年8月)	グラクソ・スミスクライン(英) から導入
MT-5547	完全ヒト型抗ヒトNGFモノクローナル抗体製剤 (変形性関節症)	日本 フェーズ 2/3	リジェネロン(米)から導入
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニスト (多発性硬化症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(乾癬)	欧州 フェーズ 2	
	(クローン病)	日本、欧州 フェーズ 2	
MT-7117	皮膚科用剤 等 (赤芽球性プロトポルフィリン症)	米国 フェーズ 2	自社創製品
MT-2990	炎症・自己免疫疾患 等	フェーズ 1	自社創製品

② 糖尿病・腎疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア 申請(2017年8月)	自社創製品
	(心血管疾患の既往がある、または心血管疾患リスクがある2型糖尿病における脳・心血管死、非致死性心筋梗塞及び非致死性脳卒中の複合リスクの低減(CANVAS/CANVAS-R))	米国 申請(2017年9月)	ヤンセンファーマシューティカルズ(米) へ導出
	(糖尿病性腎症)	日本、米国、欧州他 フェーズ 3 国際共同治験	自社創製品 治験依頼者:ヤンセン リサーチ アンド デベロップメント(米)
MP-513 テネリア (テネリグリブチン臭化水素酸 塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	インドネシア 申請(2015年4月)	自社創製品
		シンガポール 申請(2018年7月)	
		タイ 申請(2018年9月)	
		中国 フェーズ 3	
		欧州 フェーズ 2	
MT-6548 (バダデュスタット)	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	日本 フェーズ 3	アケビア(米)から導入
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
		日本 フェーズ 2	
		日本 フェーズ 2 (非アルコール性脂肪性肝炎)	

③ 中枢神経系疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症)	スイス 申請(2017年12月)	自社創製品
		欧州 申請(2018年5月)	
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	韓国 申請(2017年12月)	ゲデオンリヒター(ハンガリー)から導入
		台湾 申請(2017年12月)	
		シンガポール 申請(2018年6月)	
		タイ 申請(2018年8月)	
MT-210	セロニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	米国、欧州 フェーズ 3	ミネルバ・ニューロサイエンス(米) へ導出
MT-5199	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本 フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオサイエンス(米) から導入
Wf-516	モノアミンレセプターに対する多重作用* (大うつ病)	米国、欧州 フェーズ 2	ミネルバ・ニューロサイエンス(米) へ導出
MT-8554	神経系用剤 等 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(更年期に伴う血管運動神経症状)	米国 フェーズ 2	
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ/パッチ製剤 (パーキンソン病)	米国、欧州 フェーズ 2	自社創製品
MP-124	神経系用剤	フェーズ 1	自社創製品
ND0701 (アポモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ (パーキンソン病)	フェーズ 1	自社創製品
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症/新投与経路)	フェーズ 1	自社創製品

*選択的セロニン取り込み阻害/セロニン1A受容体拮抗/ドパミン取り込み阻害/ α 1Aと α 1Bアドレナリン受容体の調節

④ ワクチン

治験コード	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、 急性灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本 フェーズ 3	阪大微生物病研究会(日)と共同開発
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/成人)	米国、欧州、カナダ他 フェーズ 3	メディカゴ(カナダ)品
	(季節性インフルエンザの予防/高齢者)	米国、欧州、カナダ他 フェーズ 3	
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ フェーズ 2	メディカゴ(カナダ)品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品
MT-5625	植物由来VLPワクチン (ロタウイルス胃腸炎の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品

⑤ その他疾患

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症)	日本 フェーズ 3	協和発酵キリン(日)へ導出
MCC-847 (マシルカスト)	ロイコトリエンD4受容体拮抗剤 (喘息)	韓国 フェーズ 2	サマファーマ(韓)へ導出
Y-803	BRD阻害剤 (がん)	欧州、カナダ フェーズ 2	メルク(米)へ導出
GB-1057 (人血清アルブミン [遺伝子組換え])	血液および体液用剤	フェーズ 1	自社創製品
MT-0814	眼科用剤	フェーズ 1	自社創製品
MT-4129	循環器官用剤 等	フェーズ 1	自社創製品
MT-2765	循環器官用剤 等	フェーズ 1	上海医薬集団(中) と共同研究

2018年度第1四半期決算発表からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	前回発表	2018年10月25日 現在	起源/導出先等
パリキサ (バルガンシクロビル塩酸塩)	抗サイトメガロウイルス化学療法剤 (小児・臓器移植におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制)	日本 申請(2018年2月)	日本 承認(2018年8月)	エフ・ホフマン・ラ・ロシュ (スイス)より導入
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (心血管疾患の既往がある、または心血管疾患リスクがある2型糖尿病における脳・心血管死、非致死性心筋梗塞及び非致死性脳卒中の複合リスクの低減 (CANVAS/CANVAS-R))	欧州 申請(2017年10月)	欧州 承認(2018年9月)	ヤンセンファーマシュー ティカルズ(米)へ導出
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症)	カナダ 申請(2018年4月)	カナダ 承認(2018年10月)	自社創製品
MP-513 テネリア (テネリグリプチン臭化水素 酸塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	記載なし	シンガポール 申請(2018年7月)	自社創製品
		記載なし	タイ 申請(2018年9月)	
アザニン (アザチオプリン)	免疫抑制剤 (自己免疫性肝炎)	記載なし	日本 申請(2018年8月)	グラクソ・スミスクライン (英)から導入
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	記載なし	タイ 申請(2018年8月)	ゲデオンリッター(ハンガ リー)から導入
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/高齢者)	記載なし	米国、欧州、カナダ他 フェーズ 3	メディカゴ(カナダ)品

7 その他

1. 関係会社

① 関係会社数

	2018年度上期末	2017年度末	増減数	特記事項
連結子会社数	33	33	-	
関連会社および ジョイントベンチャー数	2	2	-	
合計	35	35	-	

② 連結子会社一覧

(2018年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	吉富薬品	385百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の学術情報伝達
2	田辺三菱製薬工場	1,130百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
3	田辺製薬吉城工場	400百万円	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
4	田辺総合サービス	90百万円	100.0 (-)	3月末	オフィスサービス等
5	田辺パルムサービス	10百万円	100.0 (100.0)	3月末	印刷業務、社内郵便業務、オフィスサポート業務
6	ステリック再生医学研究所	1百万円	100.0 (100.0)	9月末	医薬品の研究開発
7	ミツビシ タナベ ファーマ ホールディングス アメリカ	USD 167	100.0 (-)	3月末	北米グループ会社の経営管理
8	ミツビシ タナベ ファーマ ディベロップメント アメリカ	USD 200	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
9	ミツビシ タナベ ファーマ アメリカ	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
10	MP ヘルスケア ベンチャー マネジメント	USD 100	100.0 (100.0)	3月末	バイオベンチャーへの投資事業
11	タナベ リサーチ ラボラトリーズ U.S.A.	USD 3 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の研究開発
12	ミツビシ タナベ ファーマ カナダ	CAD 4 Mill.	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売
13	MTPC ホールディングス カナダ	CAD 475.0 Mill.	100.0 (-)	3月末	メディカゴグループへの投資
14	メディカゴ	CAD 640.0 Mill.	60.0 (57.8)	3月末	ワクチンの研究開発・製造
15	メディカゴ U.S.A.	USD 99	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの製造
16	メディカゴ R&D	CAD 500	60.0 (60.0)	3月末	ワクチンの研究開発
17	田辺三菱製薬研発(北京)	USD 1 Mill.	100.0 (-)	12月末	医薬品の研究開発
18	天津田辺製薬	USD 16.2 Mill.	75.4 (-)	12月末	医薬品の製造・販売
19	台湾田辺製薬	TWD 90 Mill.	65.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
20	台田薬品	TWD 20 Mill.	65.0 (-)	3月末	医薬品の販売
21	タナベ インドネシア	USD 2.5 Mill.	99.6 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
22	ミツビシ タナベ ファーマ シンガポール	SGD 300,000	100.0 (-)	3月末	医薬品の開発
23	MT ファーマ タイランド	THB 103 Mill.	100.0 (2.0)	3月末	医薬品の販売
24	ミツビシ タナベ ファーマ コリア	KRW 2,100 Mill.	100.0 (-)	3月末	医薬品の製造・販売
25	ニューロダーム	USD 58,000	100.0 (-)	3月末	医薬品の研究開発
26	ミツビシ タナベ ファーマ ヨーロッパ	GBP 4.6 Mill.	100.0 (-)	3月末	医薬品の研究開発
27	ミツビシ タナベ ファーマ ゲーエムベーパー	EUR 25,000	100.0 (100.0)	3月末	医薬品の販売

* 上記以外に連結子会社が5社(内、清算手続中の会社が2社、休眠会社が1社)あります。また、業績連動型株式報酬にかかる信託を連結子会社に含めております。

③ 関連会社およびジョイントベンチャー一覧

(2018年9月30日現在)

	会社名	資本金	議決権所有割合 (内、間接所有分)	決算期	事業内容
1	サンテラボ・タナベ シミイ	EUR 1.6 Mill.	50.0 (-)	12月末	医薬品の製造・販売
2	BIKEN	100百万円	33.4 (-)	3月末	ワクチンを含む生物学的製剤の製造・販売

2. 株式の状況

① 発行済株式数

	2018年9月末	2018年3月末
期末発行済株式総数	561,417,916	561,417,916
期末自己株式数(注)	640,231	642,309
期末発行済株式数	560,777,685	560,775,607
期中平均自己株式数	641,692	560,272
期中平均株式数	560,776,224	560,857,644

(注) 2018年9月末の期末自己株式数には、業績連動型株式報酬にかかる信託が所有する当社株式が208,655株含まれております。

② 大株主の状況

順位	株主名	2018年9月末		2018年3月末		
		持株数 千株	持株比率(%)	順位	持株数 千株	持株比率(%)
1	三菱ケミカルホールディングス	316,320	56.39	1	316,320	56.39
2	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	27,215	4.85	2	27,144	4.84
3	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	15,099	2.69	3	12,733	2.27
4	日本生命保険	12,065	2.15	4	12,065	2.15
5	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	7,090	1.26	6	7,118	1.27
6	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口5)	4,415	0.79	8	4,662	0.83
7	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口7)	3,915	0.70	9	3,833	0.68
8	ニプロ	3,821	0.68	10	3,821	0.68
9	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	3,707	0.66	20	2,113	0.38
10	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口9)	3,687	0.66	7	4,822	0.86

③ 所有者別株式分布状況(単元株)

	2018年9月末			2018年3月末		
	株主数 名	株式数 千株	構成比(%)	株主数 名	株式数 千株	構成比(%)
金融機関	77	93,932	16.73	79	92,006	16.39
外国法人等	624	104,176	18.56	608	108,658	19.36
個人・その他(注)	20,534	26,821	4.78	18,126	25,240	4.50
その他の法人	266	330,065	58.80	268	330,078	58.81
金融商品取引業者	38	6,313	1.12	40	5,325	0.95
合計	21,539	561,309	100.00	19,121	561,310	100.00
(単元未満株式の状況)	-	108	-	-	107	-

* 1単元の株式数は100株

(注) 個人・その他には、自己株式(2018年9月末431千株、2018年3月末431千株)を含んでおります。

④ 配当金/株価推移

(日本基準)	2013年度	2014年度	2015年度
1株当たり年間配当金(円)	40	42	46
配当性向(%)	49.4	59.6	45.7
(のれん償却前)	(40.5)	(47.6)	(38.8)
期末株価(円)	1,443	2,062	1,957
株式時価総額(億円)	8,101	11,576	10,987

(IFRS)	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度上期	2018年度予想
1株当たり年間配当金(円)	46	52	66*	28	56
配当性向(%)	43.5	40.9	63.9	-	66.8
期末株価(円)	1,957	2,318	2,080	1,900	-
株式時価総額(億円)	10,987	13,014	11,677	10,667	-

*当社は、2017年10月1日に発足10周年を迎えました。これを記念し、2017年度中間配当時に記念配当(10円)を実施いたしました。

参考

主要医療用医薬品の解説

レミケード	2002年5月発売	薬効	抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNF αをターゲットとした抗TNF α抗体で、早く強力な効果と、1回の点滴で8週間効果が持続するという点が特長である。関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)をはじめ、クローン病、潰瘍性大腸炎、尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、ベーチェット病による難治性網膜ぶどう膜炎、強直性脊椎炎の効能・効果を有する。2015年8月に腸管型ベーチェット病、神経型ベーチェット病、血管型ベーチェット病、2015年12月に川崎病の効能を追加し、2016年5月には乾癬の用法・用量の追加(増量・投与間隔の短縮)について、2017年5月にはクローン病の用法・用量の追加(投与間隔の短縮)について承認を取得した。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
シンボニー	2011年9月発売	薬効	ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるTNF αをターゲットとした抗TNF α抗体で、4週間に1回の皮下注射投与で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。適応症は関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)に加え、2017年3月に潰瘍性大腸炎の効能を追加した。また、2018年4月より、関節リウマチに対しては、自己注射が可能となった。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
テネリア	2012年9月発売	薬効	選択的DPP-4阻害剤
<p>当社が創製した初の日本オリジンのジペプチジルペプチダーゼ-4(DPP-4)阻害剤で活性型GLP-1の血中濃度を上昇させることにより、血糖依存的なインスリン分泌促進・グルカゴン分泌抑制をもたらす血糖降下作用を発揮する2型糖尿病治療剤である。</p>			
ステラーラ	2017年3月 適応追加	薬効	ヒト型抗ヒトIL-12/23p40モノクローナル抗体製剤
<p>炎症性サイトカインであるIL-12/23をターゲットとしたモノクローナル抗体で、12週間に1回の皮下注射投与(初回のみ点滴静注投与)で、長期にわたり継続する優れた有用性を有する。2011年3月よりヤンセンファーマから発売。適応症は乾癬に加え、2017年3月にクローン病の効能を追加した。2017年4月より、クローン病の適応についてのみ、当社とヤンセンファーマの両社でコ・プロモーションを展開。2018年7月の販売枠組み変更により、流通を当社に変更し、引き続きクローン病にてコ・プロモーションを実施している。</p> <p>オリジン:(米)ヤンセン・バイオテック</p>			
レキサプロ	2011年8月発売	薬効	選択的セロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)
<p>セロトントランスポータに高い選択性を持つSSRIで、世界98の国と地域で承認されている。うつ病・うつ状態への優れた有効性と良好な忍容性が認められている。さらに、用法・用量が簡便であることから抗うつ薬治療で重要な服薬アドヒアランスの向上が期待される。2015年11月に社会不安障害(SAD)適応の承認を取得した。</p> <p>オリジン:ルンドベック(デンマーク)、製造販売元:持田製薬</p>			
セレジスト	2000年9月発売	薬効	脊髄小脳変性症治療剤
<p>脊髄小脳変性症における運動失調を改善する甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン(TRH)の誘導体である。本剤が発売されるまでは注射剤のみであったが、自社技術により経口投与を世界で初めて可能にした。2009年10月に口腔内崩壊錠を発売した。</p>			
クレメジン	2011年4月発売	薬効	慢性腎不全用剤
<p>高純度の多孔質炭素からなる球形微粒状の経口吸着薬。慢性腎不全時の尿毒症毒素の吸着・除去により尿毒症症状の改善、腎機能低下進展抑制ならびに透析導入の遅延を図る。1991年12月に発売後、2011年4月、第一三共からの販売移管により、当社が販売を開始した。</p> <p>オリジン:製造販売元:クレハ</p>			
カナグル	2014年9月発売	薬効	SGLT2阻害剤
<p>当社が創製したナトリウム-グルコース共輸送体(sodium glucose co-transporter; SGLT)2阻害剤であり、腎臓に存在するSGLT2を阻害することで、尿糖排泄促進作用を通じた血糖低下作用を発揮する。本剤は、米国、欧州、オーストラリアなども含め世界80カ国以上で承認されており、これらの国ではヤンセンファーマが製品名「インヴォカナ」で販売している(2018年3月現在)。</p>			
タリオン	2000年10月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>抗ヒスタミンH1作用の発現が早くみられ、アレルギー性鼻炎、蕁麻疹、皮膚疾患に伴うそう痒に早期から高い効果を発揮する。一方で、眠気の発現頻度が低い。2007年7月に口腔内崩壊錠を発売し、2015年5月に小児(7-15歳)適応の承認を取得した。</p> <p>オリジン:宇部興産</p>			

ルパフィン	2017年11月発売	薬効	アレルギー性疾患治療剤
<p>ルパフィン(一般名:ルバタジンフマル酸塩)は、抗PAF作用と抗ヒスタミン作用を併せ持つ新しい作用機序のアレルギー性疾患治療剤である。本剤は、PAFとヒスタミンの2つのケミカルメディエーターを抑えることにより、即時型ならびに遅延型アレルギー症状の抑制が期待できる薬剤として開発され、「アレルギー性鼻炎」および「蕁麻疹」「皮膚疾患(湿疹・皮膚炎、皮膚そう痒症)に伴うそう痒」の効能を有する。</p> <p>オリジン:ユリアック(スペイン)、製造販売元:帝國製薬 ※PAF(platelet activating factor):血小板活性化因子</p>			
メインテート	1990年11月発売	薬効	選択的β1遮断剤(高血圧症・狭心症・不整脈・慢性心不全治療剤)
<p>世界100カ国以上で使用されている代表的なβ1遮断剤。極めて高いβ1選択性と良好な薬物動態を示し、高い有効性と安全性とともに、生命予後改善の豊富なエビデンスを有する。2011年5月に慢性心不全、2013年6月に頻脈性心房細動の効能をそれぞれ追加。</p> <p>オリジン:(独)メルクセローノ</p>			
カナリア	2017年9月発売	薬効	選択的DPP-4阻害剤 + SGLT2阻害剤
<p>日本で初めて発売されたDPP-4阻害剤とSGLT2阻害剤を含有する配合剤であり、当社が創製したDPP-4阻害剤「テネリア」とSGLT2阻害剤「カナグル」が配合されている。本剤は、長期にわたる良好な血糖コントロールと服薬錠数が低減されることでアドヒアランスの向上に繋がることが期待される。</p>			
ラジカット (ラジカヴァ)	2001年6月発売	薬効	フリーラジカールスカベンジャー
<p>日本で開発された世界初の脳保護剤(フリーラジカールスカベンジャー)であり、脳梗塞急性期の患者における神経症候、日常生活動作障害、機能障害(退院時の後遺症の程度)を改善する。脳梗塞の3つの主要病型(ラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症)いずれにも適応がある。発症後24時間以内に投与を開始し、投与期間は14日以内。2010年5月には点滴静注バッグを発売した。</p> <p>筋萎縮性側索硬化症(ALS)を適応として2005年6月にオーファンドラッグに指定され、2015年6月に承認を取得した。海外では、米国(2017年5月)、カナダ(2018年10月)および韓国(2015年12月)で承認を取得している。</p>			
イムセラ	2011年11月発売	薬効	多発性硬化症治療剤
<p>多発性硬化症における神経炎症を抑制するファースト・イン・クラスの薬剤である。リンパ球上のスフィンゴシン1リン酸受容体に作用して、自己反応性リンパ球の中樞神経系への浸潤を阻止する。多発性硬化症の薬物治療に対し、経口投与(1日1回)が可能であり、患者さんの負担を軽減する。当社が創製し、ノバルティスファーマと共同で開発を行い当社では製品名「イムセラ」、ノバルティスファーマでは製品名「ジレニア」で販売されている。</p>			
インフルエンザ ワクチン	1972年9月発売	薬効	インフルエンザの予防
<p>季節性インフルエンザの予防に用いられる。2015年より、これまでの3価ワクチンから4価ワクチンに変更された。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
テトラビック	2012年10月発売	薬効	百日せき、ジフテリア、破傷風および急性灰白髄炎の予防
<p>既存のDPTワクチンに不活化ポリオワクチン(IPV)を混合した4種混合ワクチン。定期接種1期初回(3回)および1期追加(1回)の計4回接種に使用される。IPVは急性灰白髄炎(ポリオ)の予防のみならず、従来の生ポリオワクチン投与により極めて稀に発生するワクチン関連麻痺の解決が期待されている。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
水痘ワクチン	1987年3月発売	薬効	水痘および50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防
<p>水痘(みずぼうそう)の予防に用いられるワクチンで、2014年に定期接種化された。また、2016年、50歳以上の者に対する帯状疱疹の予防に関する効能・効果が承認された。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ミールビック	2005年12月発売	薬効	麻しんおよび風しんの予防
<p>麻しんと風しんの予防接種が同時に行え、接種者の負担が軽減できる乾燥弱毒生麻しん風しん混合ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。1回の接種で麻しんと風しんの両方の免疫を獲得できることから、被接種者(保護者)や医療関係者の負担軽減、麻しんおよび風しんの予防接種率向上に寄与している。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			
ジェービックV	2009年6月発売	薬効	日本脳炎の予防
<p>製造過程におけるウイルスを増殖させる宿主として、Vero細胞を使用した、乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン。定期接種1期、2期で使用される。本剤は製造過程でマウス脳を使用しないため、副反応(ADEM:急性散在性脳脊髄炎)軽減が期待されている。</p> <p>オリジン・製造販売元:一般財団法人阪大微生物病研究会</p>			

ニュースリリース

2018年4月以降の主なニュースリリースは、下記の通りです。詳細は、ホームページ(<https://www.mt-pharma.co.jp/release/index.php>)をご覧ください。

発表日	内容
2018年 4月10日	世界のALS患者さんへ 日本発のALS治療薬を届けたい ALS治療薬(エダラボン)のカナダ承認申請受理および販売子会社(カナダ)設立について
4月10日	(開示事項の経過)Kolon Life Science社とのライセンス契約に関する仲裁申立てのお知らせ
5月18日	糖尿病治療薬「カナグリフロジン」が日本化学工業協会の技術賞 総合賞を受賞
5月28日	世界のALS患者さんへ 日本発のALS治療薬を届けたい 欧州医薬品庁(EMA)がALS治療薬(エダラボン)の申請を受理
5月30日	「免疫炎症性難病創薬コンソーシアム」の発足について 3アカデミア・3製薬企業による協調的・競争的な創薬研究をスタート
6月14日	爪白癬治療剤「Jublia」の台湾における販売承認取得について(科研製薬との共同発表)
6月25日	大阪府北部地震に対する義援金について
6月28日	抗ヒトIL-12/23p40モノクローナル抗体製剤「ステララー」 田辺三菱製薬とヤンセンファーマの販売枠組み変更のお知らせ ～流通を田辺三菱製薬に変更し、引き続きクローン病にて共同販促～
7月2日	臨床研究法にのっとり、透明性を確保し、研究者発意の研究を支援します 研究者主導臨床研究の公募について
7月2日	田辺三菱製薬と大阪大学による「創薬神経科学共同研究講座」の設置について ～難治性神経疾患に対する革新的な創薬をめざして～(大阪大学との共同発表)
7月17日	平成30年7月豪雨による被害に対する支援について
7月19日	「新規筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療薬としてのエダラボンの研究開発」により第43回(平成30年度)井上春成賞受賞
7月27日	赤芽球性プロトポルフィリン症治療をめざすMT-7117がFDA(米国食品医薬品局)からファストラック指定を受け 第2相臨床試験を開始
8月9日	(トピックス)ALS治療薬「ラジカヴァ」発売から1年、米国における投与患者数が3,000名を超えました
8月29日	ガサガサ肌、白い粉ふき乾燥肌の治療薬 OTC医薬品「コートf レグケア」新発売!
9月13日	平成30年北海道胆振東部地震に対する義援金について
9月18日	「Dow Jones Sustainability Asia Pacific Index」の構成銘柄に初選定されました
9月19日	難病患者団体支援活動「田辺三菱製薬 手のひらパートナープログラム」 第7期 助成団体募集のお知らせ
9月26日	海外子会社の社名変更に関するお知らせ
9月27日	～従業員の安心と生き生きとした就労を支援する取り組み～ 治療と仕事の両立を支援する新たな制度を導入 がんなどの疾患に加え、治療が長期間にわたる怪我や不妊治療が対象
9月27日	「イクメン企業アワード2018両立支援部門」の特別奨励賞を受賞
10月5日	日本発のALS治療薬をカナダのALS患者さんに届けます ALS治療薬「ラジカヴァ」のHealth Canadaによる承認取得について
10月9日	「JOINUS」第2回公募に関するお知らせ アステラス、田辺三菱、第一三共の3社共同ドラッグリポジショニング 化合物ライブラリーを用いた新薬探索プログラム(アステラス製薬、第一三共との共同発表)
10月11日	LGBTに関する取り組みを評価する「PRIDE指標」で「シルバー」を受賞
10月22日	自己免疫疾患治療をめざした抗体医薬に関する共同研究契約締結のお知らせ(ファーマフーズとの共同発表)
10月23日	飲食前の1本で、肝臓に作用し、二日酔いのむかつきに効く! 「ウルソ」ブランドの二日酔い対策ドリンク 指定医薬部外品「ウルソウコン」新発売!